

北海道大学大学院水産科学研究院（海洋共生学分野）における教員（教授）の公募について

令和7年7月11日

1. 公募人員：教授1名 常勤（任期の定め無し）
2. 所 属：（雇入れ直後）大学院水産科学研究院 海洋生物資源科学部門 海洋共生学分野
（変更の範囲）大学の定める場所
3. 専門領域：漁業経済構造や漁業労働力の再生産構造に関する社会科学的な教育・研究分野
4. 職務内容：（雇入れ直後）大学院水産科学研究院，大学院水産科学院及び水産学部（全学教育を含む）に係る教育・研究・運営等に従事
（変更の範囲）大学の定める業務
5. 主な担当授業科目：
大学院水産科学院：海洋共生学に関連する科目（講義・実験・演習・実習等）
水産学部：海洋資源科学の科目（講義・実験・演習・実習等，乗船実習を含む）
全学教育科目：水産科学に関連する全学教育科目
6. 応募資格：
 - (1) 博士の学位を有すること
 - (2) 専門分野に関し顕著な研究業績を有すること
7. 採用予定時期：令和8年1月1日以降，できるだけ早い時期
8. 試用期間：あり（3か月）
9. 給 与：本学給与規程による
10. 勤務形態：同意に基づく専門業務型裁量労働制（※）または固定労働時間制を適用（※1日に7時間45分労働したものとみなす）
11. 健康保険等：文部科学省共済組合，厚生年金，労災保険，雇用保険加入
12. 募集者の名称：国立大学法人 北海道大学
13. 受動喫煙防止措置の状況：敷地内禁煙
14. 提出書類：下記(1)~(8)についてはプリントアウトしたものとPDFファイルの両方を提出すること。(9)については，主要著書3編を除き，PDFファイルを提出すること
 - (1) 履歴書：書式任意。ただし顔写真（最近6か月以内に撮影されたもの）を添付し，生年月日，現住所，連絡先，高等学校卒業からの学歴，職歴，学位名，学位取得機関，取得年月と学位論文題名，賞罰を記載すること。なお，平成25年4月1日以降，北海道大学に在職経験（非常勤講師，TA，TF，RA，短期支援員等全ての職種を含む）のある者は，当該職歴を漏れなく記載すること
 - (2) 研究業績一覧：原著論文，シンポジウムプロシーディング，著書，総説，解説，その他に分けて記載のこと（原著論文は，レフリー制学術雑誌に掲載されたものと，非レフリー制雑誌に掲載されたものと分けて記載すること。受理済みまたは印刷中の原著論文については受理証明を添付すること。シンポジウムプロシーディングについては，査読の有無を記すこと。コレスポンディングオーサーとなっている共著論文全てについて論文番号の後に＊を付すこと）
 - (3) 主たる研究内容の解説（3,000字程度）：これまでの研究内容を解説した文書。さらに，主要論文5編および主要著書3編を選び，それぞれの要点と学術的意義をアピールする文章を添えること
 - (4) 教育業績一覧：大学等における講義，実験・演習科目等の担当歴，大学生・大学院学生の研究指導歴，社会における教育普及活動実績等を記載すること

- (5) 研究費取得歴：科研費，受託研究等の競争的研究資金の獲得歴（代表・分担の別，金額）
 - (6) その他の業績一覧：大学，学会，社会における各種委員会等の活動歴，招待講演歴，フィールドワーク歴，特許等を記載のこと
 - (7) 教育・研究及び大学の運営に関する抱負（2,000字程度）
 - (8) 応募者について照会できる2名の氏名と連絡先：ただし，応募者は照会者に連絡を取る必要はありません
 - (9) 研究業績別刷集：研究業績一覧に記載したものについては，PDFファイルで提出すること。書籍にはついては，主要著書3編については原本，それ以外は表紙，目次，分担執筆の場合は分担箇所がわかるページ，奥付（colophon）をPDF化したものを提出すること
15. 応募期限：令和7年9月12日（金）17:00必着
16. 応募書類提出先：
〒041-8611 北海道函館市港町3丁目1番1号
北海道大学 大学院水産科学研究院 海洋共生学分野 教員選考委員会 委員長 高津哲也
※「教員応募（海洋共生学分野）」と朱書し，簡易書留で郵送のこと。応募書類は返却いたしません。なお，応募書類に含まれる個人情報，選考目的以外には使用いたしません
17. 結果通知方法：電子メールにて連絡
18. 本公募照会先：海洋共生学分野 教員選考委員会 委員長 高津哲也
電話：0138-40-8822 E-mail：takatsu AT fish.hokudai.ac.jp（ATを@に置き換えてください）
19. その他：教員選考委員会から追加書類の提出を求める場合があります。また，必要に応じて応募者の面接を行います（交通費は応募者の負担）
水産科学研究院に関する詳細はホームページ<https://www2.fish.hokudai.ac.jp/>をご参照ください
20. 参考：
- (1) 本分野は，海洋生態系の保全と持続可能な社会経済活動を調和させた自然共生社会の実現のため，水産・海洋の知識・技術を基盤とした地域振興，社会連携，国際貢献に向けて，地域特異的水産資源の開発，生物資源の持続的利活用システム，漁村社会・労働力の再生産，水産政策等に関する総合的・学際的な教育・研究を行っています。本公募では，特に，北方域に固有な水産業や漁村が抱える諸課題を解消するため，水産業が有する多面的機能等を生かして水産業の再生に向けた社会連携を行なうとともに，産業持続性の観点から漁家経営や漁業労働力等の問題に関連する経済学，さらには水産業を対象とした多様な社会科学的観点から，本部局の教員と協力しつつ，複合的・学際的な政策提言ができる教育・研究に貢献できる人材を希望します。また，研究成果を教育情報としても積極的に発信して社会教育やアウトリーチ活動に力を入れること，大学運営に積極的に関与し，持続可能な社会の実現を目指すことに意欲のある方を希望します。さらに，次世代の水産経営・政策・水産科教育を担える人材育成に豊富な経験を有する方を求めています
 - (2) 当該分野は函館キャンパスに勤務する以下の教員から構成されています（令和7年7月1日現在）。本公募による採用者は原則として大学院水産科学院を担当し，函館キャンパスに勤務することになります
教授：工藤秀明，（本公募）
准教授：パウア・ジョン・リチャード，佐々木貴文
助 教：秋田晋吾，東条斉興，チッテンデン・アンソニー・ロバート
 - (3) 就業条件については，本学の定める就業規則に基づきます
(https://www.hokudai.ac.jp/jimuk/reiki/reiki_honbun/u010RG00000447.html)
 - (4) 本学では，多様な人材による教育・研究活動の推進，男女共同参画推進，教育・研究活動と生活の両立支援，能力発揮・活躍環境整備に努めており，女性及び外国人の積極的な応募を歓迎します